

**令和2年度執行事務事業**

施策名	基本事業	番号	事務事業名
地球環境の保全	環境学習の推進と自然保護活動の充	1	森林環境学習事業
		2	環境審議会運営事業
		3	佐野市環境ネットワーク会議
		4	田中正造の日 環境フェスタ開催事業
		5	生き物調査事業

事務事業名		森林環境学習事業					評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	6 美しい自然、環境と調和するまちづくり					担当組織	担当部	市民生活部	担当課	環境政策課
	政策	2 地球環境に配慮したまちづくり					担当係	環境係	担当課長名	櫻井 学	
	施策	2 地球環境の保全					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	3 環境学習の推進と自然保護活動の充実					実施計画事業・一般事業		実施計画事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	7742	一般	4	1	5	森林環境学習事業					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	H21年度～ 年度		根拠法令 条例等	事業区分		市単独事業・国県補助事業		国県補助事業	
								任意的事業・義務的事業		任意的事業	
								実施方法		一部委託	
								事業分類		講座・教室・イベント等開催事業	
								リーディングプロジェクト		該当なし	
								市長市政公約		該当なし	

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		令和2年度実績(令和2年度に行った主な活動内容)						
森林環境贈与税を活用し、森林観察会、自然観察会、森林環境学習講座、森林環境学習フィールド整備体験学習、木工教室を開催し、森林や木の役割などについて啓発を行う。 平成30年度から事業名を森林環境学習事業とし、森林環境学習支援事業、みんなの元気な森づくり支援事業、市民環境リポーター育成支援事業(自然観察会の開催)を統合した。		<ul style="list-style-type: none"> <li>森林観察会 0回(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)</li> <li>森林環境学習講座 1回</li> <li>木工教室 0回(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)</li> <li>森林環境学習フィールド整備体験学習(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)</li> <li>生き物観察会 0回(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)</li> </ul>						
		活動指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(見込)
		講座等の開催回数	回	16	15	9	1	15

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

市民	対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(見込)
	人口	人	120,018	119,348	118,450	117,706	118,450

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

目的	自然観察会や森づくり体験活動を通して、森林の大切さについて理解する。	成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(目標)
		森林観察会の参加者数	人	60	35	0	0	65
		生き物観察会の参加者数	人	83	102	125	0	150

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

自然環境を大切にしている心が育成されている。	上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(目標)
	自然観察会参加者数	人	143	137	125	0	215

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(実績)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円	828		807		251					
	地方債	千円										
	その他	千円							100		995	
	一般財源	千円	110									
	事業費計(A)	千円	938		807		251		100		995	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			報償金	725	報償金	700	報償金	245	報償金	100	報償金	775
			消耗品費	24	消耗品費	9	消耗品費	0	消耗品費	0	消耗品費	15
傷害保険料			9	傷害保険料	8	傷害保険料	6	傷害保険料	0	傷害保険料	25	
業務委託料			180	業務委託料	90	業務委託料	0	業務委託料	0	業務委託料	180	
正規職員従事人数	人	2		2		2		2		2		
のべ業務時間	時間	360		300		200		30		300		
人件費計(B)	千円	1,374		1,146		763		109		1,091		
トータルコスト(A)+(B)	千円	2,312		1,953		1,014		209		2,086		

事務事業名	森林環境学習事業	担当部	市民生活部	担当課	環境政策課	担当係	環境係
-------	----------	-----	-------	-----	-------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成20年度に「とちぎの元気な森づくり県民税」が導入され、本市は平成21年度から開始した。自然観察会は、平成19年度から開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	国は2018年度の税制改正で森林環境税と森林環境譲与税の創設を決め、2019年度から森林環境譲与税が、2024年度から森林環境税が課税されることとなった。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	アンケートの結果は、有意義な内容だったとの意見が多い。自然観察会について、ほかの生き物の観察会も開催してほしいとの意見がある。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	森林観察会や自然観察会等を開催することにより、環境学習の機会となり、自然保護活動の推進に結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	森林環境譲与税活用基金繰入金を活用し、市町が実施主体となって実施するものである。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	市民に対して啓発を行う事業であり、妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	森林観察会や生き物観察会の実施は天候に左右されるため、新たな企画を行っても実施できないものがあると成果が向上しない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	*類似事務事業があれば、名称を記入
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	必要最小限の事業費と人件費で実施している。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求めない	理由・改善案	啓発を図るための事業であり、受益者を特定できないため、負担を求められない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？) 多くの人が森林の恵みや生物の保全についての理解を深めることができれば、終了することができる。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			

事務事業名		環境審議会運営事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	6 美しい自然、環境と調和するまちづくり					担当組織	担当部	市民生活部	担当課	環境政策課
	政策	2 地球環境に配慮したまちづくり					担当係	環境係	担当課長名	櫻井 学	
	施策	2 地球環境の保全					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	3 環境学習の推進と自然保護活動の充実					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	7630	一般	4	1	5	環境審議会運営事業					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	H6年度～ 年度		根拠法令 条例等	環境基本法 佐野市環境基本条例		事業区分		市単独事業・国県補助事業	市単独事業
								任意的事業・義務的事業		任意的事業	
								実施方法		直営	
							事業分類		審議会・協議会等運営事業		
							リーディングプロジェクト		該当なし		
							市長市政公約		該当なし		

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			令和2年度実績(令和2年度に行った主な活動内容)							
環境基本法第44条に基づき設置する審議会であり、①学識経験のある者②市議会の議員③関係行政機関の職員④副市長で組織する。市長の諮問に応じ、本市の環境保全に関して基本的事項を調査審議する。			環境基本法第44条に基づき設置する審議会であり、①学識経験のある者②市議会の議員③関係行政機関の職員④副市長で組織する。市長の諮問に応じ、本市の環境保全に関して基本的事項を調査審議する。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催せず。							
活動指標			単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(見込)		
会議の開催回数			回	4	1	1	0	2		
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
佐野市環境審議会			対象指標		単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(見込)
委員数			人	15	15	15	15	15		
目的										
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)			成果指標		単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(目標)
環境の保全に関する事項について調査審議する。			答申数		件	2	0	1	0	1
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
自然環境を大切にしている心が育成されている。			上位成果指標		単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(目標)
自然観察会参加者数			人	143	137	125	0	215		

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(実績)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円	213		76		91		0		99	
	事業費計(A)	千円	213		76		91		0		99	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			委員報酬	213	委員報酬	76	委員報酬	91	委員報酬	0	委員報酬	99
正規職員従事人数	人	2		2		2		2		2		
のべ業務時間	時間	400		50		50		50		100		
人件費計(B)	千円	1,526		191		191		182		364		
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,739		267		282		182		463		

事務事業名	環境審議会運営事業	担当部	市民生活部	担当課	環境政策課	担当係	環境係
-------	-----------	-----	-------	-----	-------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	環境基本法が平成6年に施行され、環境基本法第44条の規定に基づき、平成6年に佐野市環境審議会を設置した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	環境基本法が平成6年に施行され、環境基本法第44条の規定に基づき、平成6年に佐野市環境審議会を設置した。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	環境の保全のための審議会であり、結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	市長の附属機関であり、市が行わなければならない。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	審議会を運営する事業であり、妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	市長の諮問に対して答申を行うための事業であり、成果向上の余地はない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
	*類似事務事業があれば、名称を記入			
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	必要最小限の事業費と人件費で実施している。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求めない	理由・改善案	受益者を特定できないため、負担を求められない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
ほかの方法で調査審議することとすれば、終了することができる。				

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<p>廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			

事務事業名		佐野市環境ネットワーク会議参画事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	6 美しい自然、環境と調和するまちづくり					担当組織	担当部	市民生活部	担当課	環境政策課
	政策	2 地球環境に配慮したまちづくり						担当係	環境係	担当課長名	櫻井 学
	施策	2 地球環境の保全					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	3 環境学習の推進と自然保護活動の充実					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	7753	一般	4	1	5	佐野市環境ネットワーク会議参画事業					
	事業区分						市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
事業計画	単年度繰り返し		事業期間	H22年度～ 年度		根拠法令 条例等	任意的事業・義務的事业		任意的事業		
							実施方法		直営		
							事業分類		参画事業		
						リーディングプロジェクト		該当なし			
						市長市政公約		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)									
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			令和2年度実績(令和2年度に行った主な活動内容)						
市民・事業者・市の協働により佐野市環境基本計画を推進するため、佐野市環境ネットワーク会議に参画し、運営を支援する。 具体的な活動としては、加入者相互の連携を図り、情報の共有、意見交換などを行い、環境保全、啓発活動の企画や実施を行う。			(市の活動) 運営委員会等に出席 (佐野市環境ネットワーク会議の活動) 解散総会の開催						
			活動指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(見込)
			会議・事業への参加回数	回	25	36	8	2	—
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)									
佐野市環境ネットワーク会議			対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(見込)
			団体数	団体	1	1	1	1	—
目的									
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)			成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(目標)
市民・市民団体・事業者等が自発的に環境保全活動に取り組む。			会員数	会員	31	27	28	28	—
			活動回数	回	50	52	33	2	—
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)									
自然環境を大切に心が育成されている。			上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(目標)
			自然観察会参加者数	人	143	137	125	0	215

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	3	3	3	0		
	事業費計(A)	千円	3	3	3	0	0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			負担金	3	負担金	3	負担金	3
	人件費	人	2	2	2	2		
のべ業務時間	時間	200	250	200	30			
人件費計(B)	千円	763	955	763	109	0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	766	958	766	109	0		

事務事業名	佐野市環境ネットワーク会議参画事業	担当部	市民生活部	担当課	環境政策課	担当係	環境係
-------	-------------------	-----	-------	-----	-------	-----	-----

(3)事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	佐野市環境基本計画に「佐野市環境ネットワーク会議」を位置付け、「佐野市環境ネットワーク会議」が平成22年6月25日に設立されたことにより、開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	特定の会員のみでの参加となっている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	毎年、退会される方がいる。

(4)前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業終了	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	
	結びついている	理由・改善案 環境保全の活動や啓発を推進するための事業であり、結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	
	市が行わなければならない	理由・改善案 市民、市民団体、事業者、行政などが連携するものであり、市が行わなければならない。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	
	妥当である	理由・改善案 環境保全活動などを推進するための会議であり、妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	
	成果向上余地がない	理由・改善案 環境ネットワーク会議の活動をより多くの方に知ってもらい、また、誰もが参加しやすい活動にすることができれば成果向上の余地があるが、解散に向けた話し合いを行っている。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	
	類似事務事業はない	理由・改善案 類似事務事業名 *類似事務事業があれば、名称を記入
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	
	削減の余地はない	理由・改善案 必要最小限の事業費と人件費で実施している。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	
	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案 受益者を特定できないため、負担を求めることができない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？) 環境ネットワーク会議が解散されれば、終了することができる。	

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1)今後の事務事業の方向性	(2)改革・改善による期待効果	(3)改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<p>廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持			×																					
	低下		×	×																					

事務事業名		田中正造の日 環境フェスタ開催事業					評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	6 美しい自然、環境と調和するまちづくり					担当組織	担当部	市民生活部	担当課	環境政策課
	政策	2 地球環境に配慮したまちづくり					担当係	担当係	環境係	担当課長名	櫻井 学
	施策	2 地球環境の保全					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	3 環境学習の推進と自然保護活動の充実					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	7765	一般	4	1	5	田中正造の日 環境フェスタ開催事業					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	H28年度～ 年度		根拠法令 条例等	事業区分		市単独事業・国県補助事業			
								市単独事業			
								任意的事業・義務的事業			
								実施方法			
								事業分類			
								リレーディングプロジェクト			
								市長市政公約			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			令和2年度実績(令和2年度に行った主な活動内容)							
環境問題の先駆者である田中正造翁の偉業を称え、環境についての啓発を行うための環境フェスタを開催する。 自然保護活動などに取り組み、顕著な成果を挙げた団体に対し、田中正造記念賞を授与する。 環境美化活動を行う模範的な団体に対し、環境美化活動功労団体表彰を行う。 (平成25年度から開始した田中正造記念賞授与事業と平成28年度に実施した田中正造記念日制定事業を統合した。)			田中正造記念賞の募集の中止 環境美化活動功労団体の募集の中止 田中正造の日環境フェスタ(10月10日)は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止							
			活動指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(見込)	
			選考委員会の開催回数	回	3	2	2	0	2	
			イベントの開催回数	回	1	1	0	0	1	
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
市民 自然保護活動などに取り組む団体 環境美化活動に取り組む団体			対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(見込)	
			人口	人	120,018	119,348	118,450	117,706	118,450	
			田中正造記念賞応募団体数	団体	27	8	5	0	8	
			環境美化活動推薦団体数	団体	14	8	6	0	8	
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
田中正造翁の偉業継承と環境について啓発を図る。 田中正造記念賞にふさわしい団体を表彰する。 環境美化活動を行う模範的な団体を表彰する。			成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(目標)	
			イベントの参加者数	人	210	227	0	0	250	
			田中正造記念賞表彰団体数	団体	2	2	2	0	2	
			環境美化活動表彰団体数	団体	6	4	0	0	3	
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
自然環境を大切にしている心が育成されている。			上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(目標)	
			田中正造記念賞応募団体数	団体	27	8	5	0	8	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(実績)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円	331		423		354					
	一般財源	千円	150									
	事業費計(A)	千円	481		423		354		0		0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			報償金	310	報償金	315	報償金	265				
			報償物資費	6	報償物資費	4	報償物資費	5				
費用弁償			60	費用弁償	2	費用弁償	3					
消耗品費			1	消耗品費	1	消耗品費	1					
食糧費			15	食糧費	13	食糧費	0					
作成委託料			89	作成委託料	88	作成委託料	80					
正規職員従事人数	人	3		1		1		1		0		
のべ業務時間	時間	150		150		150		10		0		
人件費計(B)	千円	572		573		572		36		0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,053		996		926		36		0		



事務事業名	田中正造の日 環境フェスタ開催事業	担当部	市民生活部	担当課	環境政策課	担当係	環境係
-------	-------------------	-----	-------	-----	-------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	田中正造翁没後100年顕彰事業の一環として、平成25年度から田中正造記念賞授与事業を開始した。また、平成28年度に実施した田中正造記念日制定事業において、田中正造の日(10月12日)を制定し、環境フェスタを開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
廃止	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	環境問題の先駆者である田中正造翁の偉業を継承し、自然保護活動や環境美化活動等を行う団体を表彰することは、環境保護活動の推進につながるため、結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	環境保護の啓発を行う事業であり、市が主体となって実施する必要がある。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	環境保護の啓発、田中正造記念賞の表彰、環境美化活動功労団体の表彰を行う事業であり、妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	イベント内容の見直しにより、成果向上の余地がある。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	必要最小限の事業費と人件費で実施している。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求めない	理由・改善案	啓発を図るための事業であり、受益者を特定できないため、負担を求められない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？) 環境保護の啓発が図られるか、ほかの方法により啓発を行うこととすれば、終了することができる。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
<p>* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)</p>	<p>廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持			×																					
	低下		×	×																					

事務事業名		生き物調査事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	6 美しい自然、環境と調和するまちづくり					担当組織	担当部	市民生活部	担当課	環境政策課
	政策	2 地球環境に配慮したまちづくり					担当係	環境係	担当課長名	櫻井 学	
	施策	2 地球環境の保全					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	3 環境学習の推進と自然保護活動の充実					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	7759	一般	4	1	5	生き物調査事業					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	H29年度～ 年度		根拠法令 条例等	事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業	
								任意的事業・義務的事业		任意的事業	
								実施方法		直営	
								事業分類		検査・調査事務	
								リーディングプロジェクト		該当なし	
								市長市政公約		該当なし	

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			令和2年度実績(令和2年度に行った主な活動内容)							
市民が生きものを調査することにより、自然環境、生態系、生物多様性、地球温暖化などに関心をもってもらふことを目的とし、市民参加の生きもの調査を実施する。また、調査結果を蓄積することにより、本市の環境の変化についての資料とする。平成29年度に市民環境リポーター事業として、制度の検討を行い、平成30年度から生き物調査事業とし、調査を開始した。			調査を行う「市民環境リポーター」の募集(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止) 説明会の開催(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)							
			活動指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(見込)	
			報告の集計数	回	1	1	1	0	1	
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
市民			対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(見込)	
			人口	人	120,018	119,348	118,450	117,706	118,450	
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
市民環境リポーターとして活動し、身近な自然環境などに関心を持ってもらう。			成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(目標)	
			市民環境リポーター数	人	—	14	13	13	43	
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
自然環境を大切にしている心が育成されている。			上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(目標)	
			市民環境リポーター数	人	—	14	13	13	43	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費	投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(目標)	
		国庫支出金	千円						
		県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円			5		14	
		事業費計(A)	千円	0	0	5	0	14	
事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
						賠償責任保険料	5	賠償責任保険料	0
人件費	人	2	2	1	1	1	1		
のべ業務時間	時間	100	150	150	20	150	150		
人件費計(B)	千円	382	573	572	73	546	546		
トータルコスト(A)+(B)	千円	382	573	577	73	560	560		

事務事業名	生き物調査事業	担当部	市民生活部	担当課	環境政策課	担当係	環境係
-------	---------	-----	-------	-----	-------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成19年度から市民環境リポーター育成支援事業を行っていたが、内容は自然観察会の開催にとどまっていた。平成29年度は市民環境リポーター事業として制度の検討を行い、平成30年度から生き物調査事業として、市民環境リポーターを新たに募集し、調査を開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	生物多様性基本法が平成20年6月に施行された。 また、平成25年から環境省が市民参加型調査「いきものログ」の運用を開始した。 希少種の保全や外来種の駆除等についての啓発が必要となっている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	生き物の調査をととして、自然環境、生態系、生物多様性などに関心をもってもらう事業であり、政策体系に結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	自然環境の保護、生物多様性の保全などの啓発のための事業であり、市が主体となって実施する必要がある。 調査結果を蓄積することができれば、本市の貴重な財産となる。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	市民に市民環境リポーターとして調査を行ってもらう事業であり、妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	多くの方に周知を図り、興味をもってもらうことができれば、成果向上の余地がある。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	必要最小限の事業費と人件費で実施している。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求めない	理由・改善案	自然環境の保護について啓発を図るものであり、受益者を特定できない事業である。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？) 本市の在来種の保護、外来種等による希少生物の絶滅の恐れを除去、地球温暖化等の環境の悪化による生態系への影響の除去などを図ることができれば、終了することができる。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
事業のやり方改善(成果向上の見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○																						
	維持			×																					
	低下		×	×																					